

令和5年度 東京家政大学名誉教授称号授与式

令和5年9月27日(水)、学園関係者出席のもと、令和5年度東京家政大学名誉教授称号授与式が行われました。在職中の教育上の功績により、今年度は令和5年3月31日に定年退職された服飾美術学科・桃木美恵教授、英語コミュニケーション学科・谷田恵司教授、子ども支援学科・大澤力教授の3名の先生方に平戸人文学部長より、名誉教授称号が授与されました。井上学長からのお祝いのご挨拶を平戸学部長が代読し、名誉教授からはそれぞれに本学での思い出などが語られました。



(前列左より) 谷田恵司教授、桃木美恵教授、大澤力教授

狭山キャンパス 学科間交流会実行委員会による「ミニ運動会」

私たち学科間交流会実行委員会では、半期に1回のペースで学科間の交流を目的としたさまざまなイベントを開催しています。前期のドッジボール大会に続いて、後期は「ミニ運動会」を9月28日に開催しました。中学・高校の頃のような青春をもう一度楽しんでほしいとの思いからミニ運動会の開催を決めました。

ミニ運動会では4チーム対抗で障害物競走、玉入れ、リレーを行いました。参加者の方々は学科学年を超えて協力し合い、素晴らしいチームプレイを見せてくれました。

私たちは何ヶ月もかけて準備をするので、どの企画に

も思い入れがあります。参加者が目の前で楽しむ姿を見ることが私たちのやりがいとなっています。今後も参加者が増えることを心から願っています。

現在、学科間交流会実行委員会は3年生3名、2年生4名、1年生2名の計9名で活動しています。委員の人数はまだ少なく、開催できる企画内容が限られてしまいます。そのため、委員のメンバーを大募集しています！学科学年を問わず誰でも学科間交流会の一員として活躍するチャンスがあります！学科間交流会実行委員会の活動を通して、人を楽しませる喜びを私たちと共有しましょう！



看護学科4年 土方佑夏さん 人命救助で東京消防庁から感謝状授与！

①人命救助を行われた当時の状況、土方さんが行った応急救護の内容について教えてください。

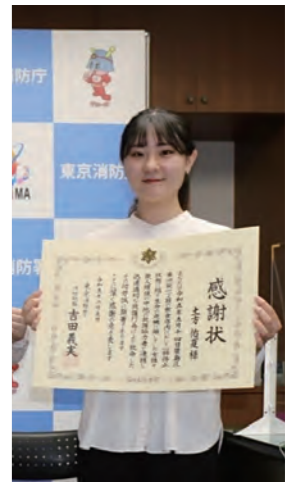
飲食店で食事をしていたところ、近くの席で食事していた女性が食べ物をのどに詰まらせ、意識を失い倒れてしまったところを、店員の方々と連携し応急手当を行いました。店員の方々が率先して119番通報や心肺蘇生法、AED搬送を行っており、私は途中から、心肺蘇生法を引き継ぎました。救急隊が到着するまで人工呼吸と胸骨圧迫を繰り返し応急手当に努めました。

②看護学科での学びがどのように活かされましたか？

突然の出来事に気が動転しましたが、授業で応急手当を学んでいたことを思い出し、落ち着いて救助にあたることができました。いつ何が起こるか分からないので、授業だけではなく、日頃から応急手当をしっかり実践し、確認しておくことの大切さを実感しました。

③人命救助、そして東京消防庁から感謝状を受けて、コメントをお願いします。

生まれて初めて人命救助という場に遭遇し戸惑いました。しかし、店内に医療従事者がおらず、看護学生である私は「こういうときのために看護を学んでいたんだよね」と思い応急手当に尽力しました。率先して応急手当を行っていた店員の方が、「看護学生のお客様がいてとても心強くなった」と話してくれたため、看護師を目指して良かったと思いました。起こした行動が、誰かの力になれたことが本当に嬉しいです。



菅家成美さん トライアスロンで大活躍！ 栄養学科1年(公認サークル 水泳同好会)

大学入学後からの活動実績

2023.8.27 日本学生選手権水泳競技大会 OWS 競技(インカレ) 16位

2023.9.3 日本学生トライアスロン選手権(インカレ) 18位

2023.9.18 日本アクアスロン選手権 4位

2023.10.8 特別国民体育大会かごしま大会 20位

2023.10.15 日本トライアスロン選手権出場

①本活動を始めたきっかけは何ですか？

兄が慶應義塾大学トライアスロン部に所属しており、活躍する姿を見て憧れを感じました。また、トライアスロンならではの雰囲気、人のつながりや温かさに魅力を感じ、挑戦してみたいと思いました。そして、私は高校まで競泳とオープンウォータースイミングをしていたのでこの経験を大いに生かせると思い始めました。



②楽しさや魅力は何ですか？

トライアスロンは練習もレースも本当に辛く、過酷な競技です。だからこそ仲間とともに励まし合い、たたえ合うことで成長を強く実感でき、苦勞を忘れる喜びを得ることができます。年齢、性別、大学に関係なく様々な人と出会い、応援し合う温かい雰囲気が私は大好きです。レース後に食べるご飯は言葉にできない美味しさです！

③今後の夢や目標を教えてください。

インカレなどの全国大会で入賞し、世界の大会に出場できる選手になりたいです。また、競技を全力で楽しみ、文武両道に励み、多くの方々から応援していただける選手を目指します。将来は本学での栄養の学びを活かして、スポーツ栄養士として世界で活躍するアスリートを支えていきたいです。

